

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 物理ベースグラフィックス：変形物体のマルチスケールモデリング
2. 研究代表者： 楽 詠コウ（青山学院大学 理工学部 教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、人物表現に重要な髪や肌、クリームやソースなどの食品の他、化粧品、土砂を含む「粘弾塑性体かつ関与媒質であるマルチスケール構造を有する非均質変形物体」を対象とし、その見た目（光学）と動き（力学）双方のシミュレーションと物性推定とを統一的に扱う手法を研究するものである。フェーズ1では計画に基づき興味深い研究成果を挙げ、トップレベルの国際会議に論文が採択されている。フェーズ2では、これまでの発展に沿った流れで具体性があり、目標が達成できそうな期待を感じた。一方、ややテーマが細かい方向に向かいつつあるように感じられた。最近の生成AIの大きな発展など、最新の流れを汲んだより挑戦的な課題に取り組んでいただくことに期待する。

以上